

文芸協会 すざか

第 32 号

発行所
須坂市文化芸術協会

〒382-0013 須坂市常盤町747

須坂市中央公民館内

TEL(026)245-1598 (有)22-1598

印刷所：ヒタキ印刷株式会社



新年交流会より

結の心

須坂市文化芸術協会会長

南澤 汎 山



過る3月11

日・12日、日

本にとつては

忘れられない

日となりまし

た。千年に一

度という未曾

有の天災「東日本大震災M9・0」

「県北部(栄村)地震M6・7」そ

して30m強の津波、人・建物・大

型船等々のあらゆる個体を押し流

し、更に目に見えない驚異に侵され

ている福島原子力発電の放射能漏れ

それによる東北一帯の食品の安全性

の危機、又住めなく消滅させられる

地域「安心」「安全」の神話が崩れる

一瞬でもありました。世界の英知を

結集して、一日も早く復興される事

を念じております。

さて、今回の大惨事により「絆」

という言葉が多く見うけられます。

「離れ難い・断ち難い・互いに寄り

沿う」すなわち「結の心」ではない

でしょうか。聖徳太子のことばで「和

をもって貴しとなす」日本人は古来

相手の気持を案ずるのを得意とする

とあります。世界にも共通語と思ひます。今置かれていた環境の奴隷にならず、生きる力、広がり、結がり、常になりんとした心掛けて行動し、努力する事は大変な事、そして耐える事のもっと大変。出来る出来ないではなく、どうしたら出来るのかを考え、あきらめず信じて、未だ見えぬ明日に希望を持ち、生きる為に生きる「夢・希望・誇り」をもって押し進みたいものです。

只今NHKの連続テレビ小説で安曇野を舞台とした「おひさま」を見ながら、須坂市も西の方角を見ると北信五岳がくつきりそびえたち、青空の下には、穏やかな日の光をめいっぱい浴びる残雪の山々、この自然の恵まれた信州に住める事に心から感謝です。当須坂市文化芸術協会も、古き時代を築き、生き抜いた先人たちの歴史の上に今日があります。その歴史を我々は正しく伝える責任があります。学んだことを地域に活かす、これからの人生を前向きに考えて生きていきたいと思います。来年は文芸協としても半世紀、50年を迎えます。会員の皆様の益々の精進をされ、そして三木市長はじめ行政、関係各位の温かい御理解、御協力を感謝すると共に、たくさんの方の皆さんの愛情に支えられ、これからもがんばっていく所存です。宜しくお願い申し上げます。

文化芸術振興による まちづくりを

まちづくりを

須坂市長 三木正夫



「ほんもの」とは、人々の思いが込められている、須坂独自の特質、「市民力・産業力の創造」が、

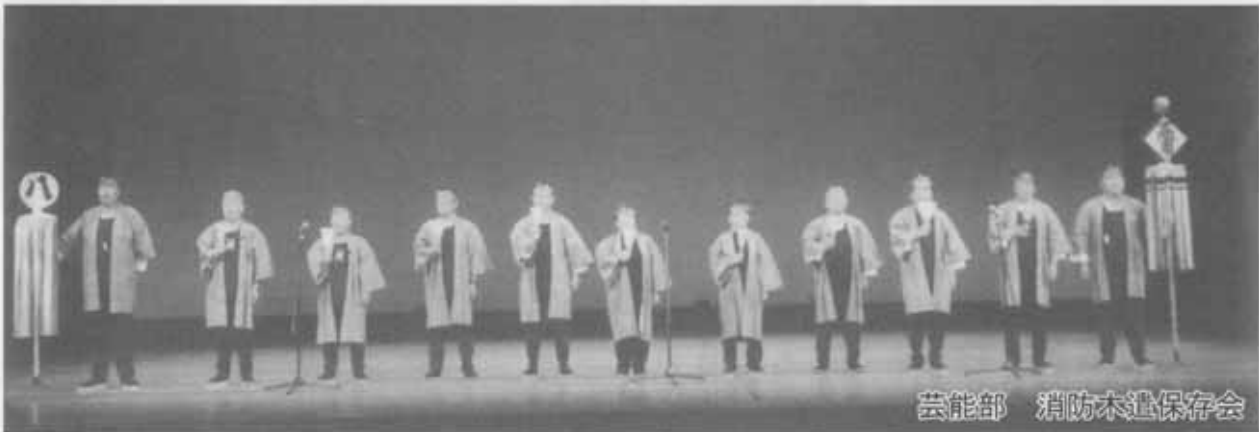
須坂市文化芸術協会会員の皆様方におかれましては、御健勝で日夜それぞれの文化芸術に御精進され、須坂市の文化芸術の振興にご尽力されておられますことに敬意と感謝を申し上げます。

「ほんもの」とは、人々の思いが込められている、須坂独自の特質、「市民力・産業力の創造」が、繰り返し発展的に行なわれることを目指す、「文化芸術振興ビジョン」を、本年3月31日に市民の皆様と一緒に策定いたしました。

須坂市では、平成23年度を初年度とし、平成32年度を目標年度とする「第五次須坂市総合計画」の基本構想を策定いたしました。

基本構想は、将来像を一人ひとりが輝き、磨

市といたしましても、皆様と手を携えて、共創により「須坂文化の継承と創造」そして「須坂の人づくり」といった生涯学習の推進施策を進めていく所存でありますので、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。



芸能部 消防木遣保存会



謡曲部 須坂宝生会

平成22年度
第48回
市民文化祭
から



展示部 生花



音楽部 すみさか民謡会

これからの文化芸術振興

須坂市中央公民館長 牧 光 央



須坂市文化芸術協会会員の皆様には日頃から、公民館活動にご理解ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

須坂市文化芸術協会と公民館が連携して、「いつでも」「どこでも」「だれでも」文化芸術活動に参加できる機会提供の場として、平成21年度から開催している文化芸術講座（平成23年度：

いるグループもあります。これも、講師の皆様の親身で熱心なご指導の賜物と感謝申し上げます。

さて、当市は本年3月31日に須坂市文化芸術振興ビジョンを策定しました。これまでの当市の発展の基礎に文化芸術活動があり、そこから自由な発想や新たな仕組みが生まれてきたこと、また、文化芸術が人口減と高齢化が急速に進む世界でも、類を見ない大きく変わる社会環境にあっても、継続して発展していく基盤であることを示していることから、これからの「すざか」の発展継続・持続には、一人ひとりの文化芸術への取

り組みが不可欠で、そこから新たな創造が繰り返されるよう、住民と行政が共に取り組みを進めていくというものです。

このような中で、須坂市文化芸術協会と公民館が連携して開催している文化芸術講座から、より多くの方が伝統文化・芸術に触れ、親しみ、意識を高めていただき、今後の継続した取り組みにつながっていくことができればと願っております。

結びに、南澤会長をはじめ、須坂市文化芸術協会会員の皆様方の今後益々ご発展とご健勝を祈念申し上げます。

の向上に寄与されております。文芸協でも長年にわたり常任理事として当会の発展に尽力されてきました。

花房流宗家・花房扇寿さんに須坂市より感謝状



昨年の六月二十日、須坂市メセナ大ホールに於いて、花房流創流三十周年記念舞踊発表会「都会」が、須坂市や文化芸術協会などの後援により盛大に開催されました。その式典上、三木須

坂市長より「多年にわたり舞踊活動を通じて文化振興及び社会奉仕に貢献されました」という事で花房流宗家・花房扇寿さんに感謝状が贈られました。

日舞・花房流は昭和四十年より須坂市民文化祭に参加しており、また多くの指導者も輩出し、文化芸術と敬意を表します。

平成23年度 文化芸術協会役員名

会長	南澤 汎山	副会長	花房多都藏	副会長	神林 寿一	副会長	山崎 芳雄	副会長	小林 孝子	会 計	高坂恵美子	事務局長	小倉 秀夫	幹 事	知之原慶治	幹 事	北原 勲	監査員	湯本 貴大	監査員	市川 捷雄
----	-------	-----	-------	-----	-------	-----	-------	-----	-------	-----	-------	------	-------	-----	-------	-----	------	-----	-------	-----	-------



茶席 翫茶道松月流

私と芸文協

①

詩吟に学ぶ

神洲流須高吟道会 佐藤 清

皆さん良くご存知の、川中島の合戦を題材とした詩吟「鞭声粛々夜河を過る」は、江戸時代後期の儒学者

頼山陽先生が「不識庵機山撃凶題」を読まれたものである等、漢詩とその作者を知り、その情景を思い浮かべ、心ゆくまで朗々と吟ずる詩吟は、日本古来の伝統文化でもある。

旅行の折には、漢詩に詠

われたその土地を訪ねて

「温故知新」の言葉どおり、

不思議なくらい新しい発見

があり楽しいものです。また、漢詩を覚えて

いることから、

書道展へ行ったり

時難しい字や

ずし字等も

すらすらと読む事も

出来たりします。

私たちのグループでは、昨年

テレビドラマの

「天地人」俳優

妻夫木聡が演じた、直江兼統の

勉学のふるさと

「雲洞庵」をめ



2011/04/29

私と芸文協

②

花にみちびかれて

草月流 小林 孝子

ぐる一泊旅行を行い、今年「吟詠で今日も笑顔のお母さん」をスローガンに華

道吟、構成吟等一人一吟の「温習発表大会」を行いました。詩吟に興味のある方一緒に勉強しませんか。お待ちしております。

三月十一日未曾有の大震災にみまわれ、映像から流

れる被災地の現状に言葉も

ありません。そんな中被災

地をお見舞下された皇后陛

下には、被災者のご婦人がラ

ツバ水仙の花束をプレゼント

トなさいました。瓦礫の中

でも花を咲かせる生命の強

さ、心に伝わる暖かさ、総

ての思いが込められていた

と思えました。復興への遠

い道程、水仙の花に負けない

様にとお祈り致します。

草月流は勅使河原茜家元

が、家元を継承して十周年

にあたり、各地で記念行事

が行われます。世界中のど

こでも、だれでもいけられ

る。いけばな”を目指して

います。家元は「いけると

は植物のいのちを通して自

分の心の姿を表現すること、

植物は自然が生み出したも

の、その植物を使って自

然の美とは違う人の”おも

い”による美を表現するこ

と”と常に語っておられます。この家元の指針を胸に

秘め、これからも植物のパ

ワーをもらいながら花と対

話を続けてゆきたいと思っ

ています。

来年は芸文協創立五十周

年にあたります。積み重

ねられた伝統の協会の益々

の発展を祈念し、私も微力

ながら努めてまいりたいと

思っております。



文芸協と私 ③

三味の音に魅せられて

すみさか民謡会 森川 紀代子



十数年前、友達に誘われて長野文化芸術祭を見に行きました。その時、橋本先生達三十人程が一斉に津軽じよんがらを弾き出したのです。驚きと感動で胸が熱くなり、自分もいつかこん

な舞台で、三味線を弾いてみたいと強く思った事を、今でもはつきり覚えていま

す。あれから十年余り。芸の道は厳しく、指が思う様にならない、調子が取れない等、なかなか上達しません。続ける事が一番！と自分に言い聞かせ、頑張っています。

すみさか民謡会は現在九人です。平均年齢は六十八才。子育てが終ったり、定年後の趣味で始めたりと、きつかけは様々ですが、みんな三味線が大好きです。太棹の醍醐味と津軽三味線独特の哀調の

あるメロディーにひかれ、東北民謡をはじめ、数々の民謡の演奏に励んでいる、津軽三味線愛好家のグループです。

老人福祉施設の慰問や、各地のイベント等ボランティア活動を中心に、演奏活動をしています。

文芸協と私 ④

「お肴」が謡曲に

柏原会 神林 寿一

まだまだ未熟者で、とても人前で披露できる様な器量ではないのですが、文芸協の会員として、大きな舞台に立てる事は、たいへん嬉しい事です。他の皆様に恥じない様、これからも練習に励んで行こうと思

農家の長男として、お肴の一つ位ほどの思いで三代で始めた謡曲ですが、いつのまにか後期高齢者の仲間入り。生来の怠け癖で、いつ辞めるともなく今日に至っております。しかしながら、素晴らしい先生や稽古仲間、素晴らしい先生や稽古仲間にも恵まれ、細々ながらも続いていることに感謝しております。月二回の稽古で、先生の前で緊張しながら仲間と声を合せ、心行

くまで謡える幸を感じております。又、謡曲を通じ多くの人との出合があり、市民文化祭での宝生流の皆様との交流を含め、私にとって大切な心の支えとなっております。



る大変な愛着と、その研究の深さに圧倒されております。お陰で、今迄漫然と謡っていたものが、又、新しい気持ちで向き合うことが出来、遅きに失った感はありませんが、謡曲の奥の深さを感じております。これからは世阿弥の「老後の初心忘るべからず」の言葉を胸に、体のゆるす限り続けてゆきたいと思う今日この頃です。

平成22年度須坂市文化芸術協会決算書

収入金額 1,135,455円
支出金額 1,078,012円
差引残高 57,443円

収入の部 単位・円

Table with 5 columns: 科目, 決算額, 予算額, 増減, 摘要. Rows include 繰越金, 会費, 補助金, 雑収入, 合計.

平成23年度須坂市文化芸術協会予算書

収入金額 1,122,493円
支出金額 1,122,493円
差引残高 0円

収入の部 単位・円

Table with 5 columns: 科目, 予算額, 前年度予算額, 増減, 摘要. Rows include 繰越金, 会費, 補助金, 雑収入, 合計.

支出の部 単位・円

Table with 5 columns: 科目, 決算額, 予算額, 増減, 摘要. Rows include 会議費, 渉外費, 普及活動費, 通信・事務費, 負担金, 事業費, 予備費, 合計.

基金(別途積立) 220,000円

支出の部 単位・円

Table with 5 columns: 科目, 予算額, 前年度予算額, 増減, 摘要. Rows include 会議費, 渉外費, 普及活動費, 通信・事務費, 負担金, 事業費, 予備費, 合計.

基金(別途積立) 220,000円

平成23年度須坂市文化芸術協会事業計画

Table with 4 columns: 期日, 事業, 内容, 場所. Rows include 4/7(木) 常任理事会, 4/11(月) 定期理事会, 5/19(木) 会報委員会, etc.

Table with 4 columns: 期日, 事業, 内容, 場所. Rows include 10/23(日) 謡曲会, 10/23(日) 音楽祭, etc.

平成24年

Table with 4 columns: 期日, 事業, 内容, 場所. Rows include 1/ 新年交流会, 2/ 須高文化交流会, etc.

編集後記
三月十一日に発生した未曾有の東日本大震災、それに加え、北部地震、地震・津波の被害に原発事故が重なり大変な事態になっております。亡くなられた方々のご冥福と、被災された皆様にお見舞い申し上げます。...

第49回 市民文化祭日程
10月23日(日) 謡曲会
メセナホール
10月23日(日) 音楽祭
メセナ大ホール
10月30日(日) 芸能祭
メセナ大ホール
10月29日(土) 展示 華道・茶席
メセナホール

編集委員
神林 寿一・高坂恵美子
北原 勲・卯之原慶治
藤澤 章道・市川 捷雄